



協力/JAしまね、上山根有史さん(松江市)

お仕事図鑑
JOB 職 WORK
oshigoto zukan

農業

食を支え、
地域を守る



田植え後に、苗の生育状況を確認します。



秋には、西条柿が大きな実を付けます。干し柿への加工も始めました。

どんな仕事？

松江市東出雲町の上山根有史さん(28)は「マルカミ農縁株式会社」の一員として契約栽培の酒米10畝と食用米4畝のほか、西条柿、キャベツの生産に取り組んでいます。春の田植えから始まり、水田の水管理、除草や西条柿の生育に合わせた何度かの消毒、キャベツの定植、収穫と切れ目なく仕事があります。とりわけ秋の収穫期は多忙を極めますが、自分たちが手掛けた作物の生育に喜びと充実感があります。

農業の魅力

上山根さんは「自由度が大きく、ストレスが少ない。自分のやり方で工夫できる。人に合わせる必要がない」と農業の魅力を話します。酒米の生産を拡大して産地化するのが大きな夢です。サラリーマン経験で培ったコミュニケーション能力を生かして、消費者への直接販売や産直市への出荷も行っています。スイカやカボチャなど夏野菜、果物の生産や西条柿に付加価値を付ける干し柿作りへの取り組みも始めました。「時代のニーズに合わせて生産者も変わらなくてはいけない。消費者に喜んでいただき会社も継続するのがベストです」。作物別にコスト計算をするなど経営の視点も忘れません。

就農までの歩み

県立松江農林高校、県立農林大学校を卒業。3人兄弟の末っ子で、兄、姉は別の進路を選び、大学校入学時には、既に家業を継ぐ決意を固めていた。JA、小売業界を経て、父親が設立した会社に入社、経験を積み重ねている。